

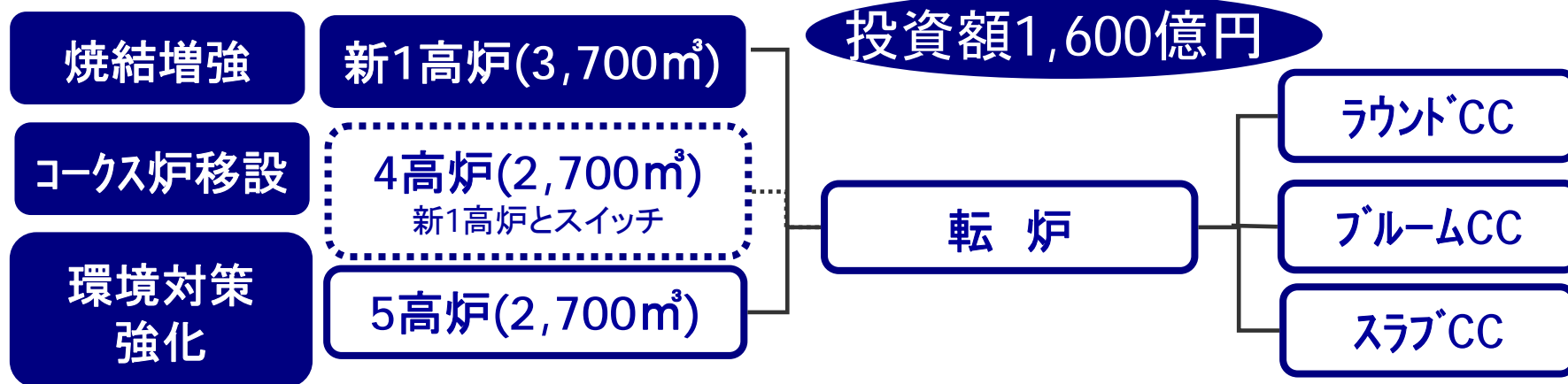
和歌山製鉄所 500万トン体制構築 3社連携の深化・拡大について



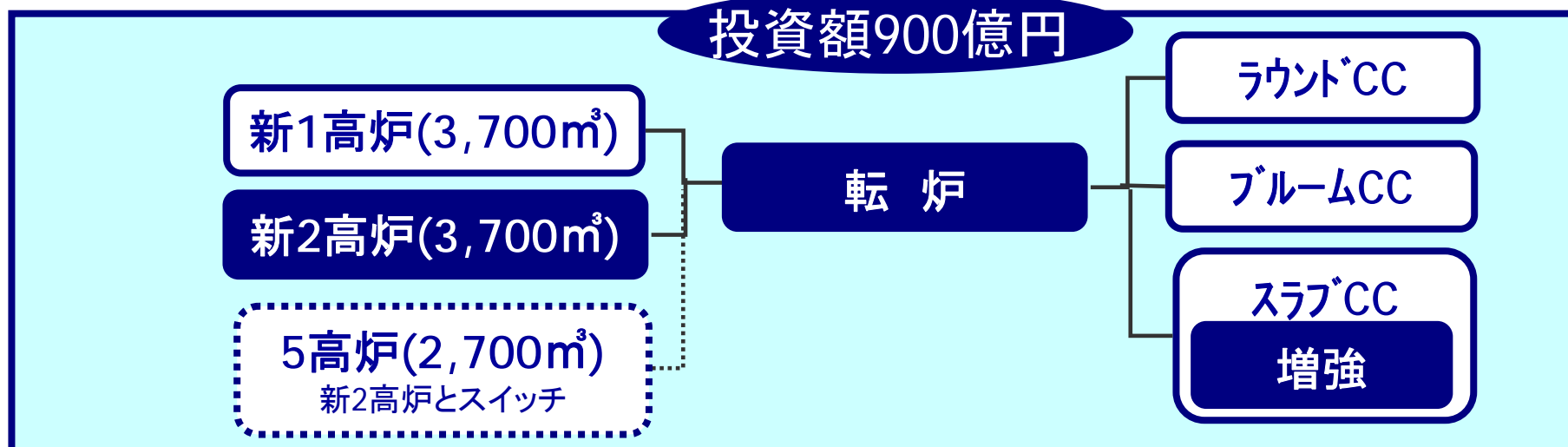
和歌山製鉄所 新2高炉の建設について

和歌山上工程更新プラン

【第1期】現状:普通鋼粗鋼 380万トﾝ体制 → 新1高炉完成後 430万トﾝ体制



【第2期】普通鋼粗鋼 430万トﾝ体制 → 新2高炉完成後 500万トﾝ体制

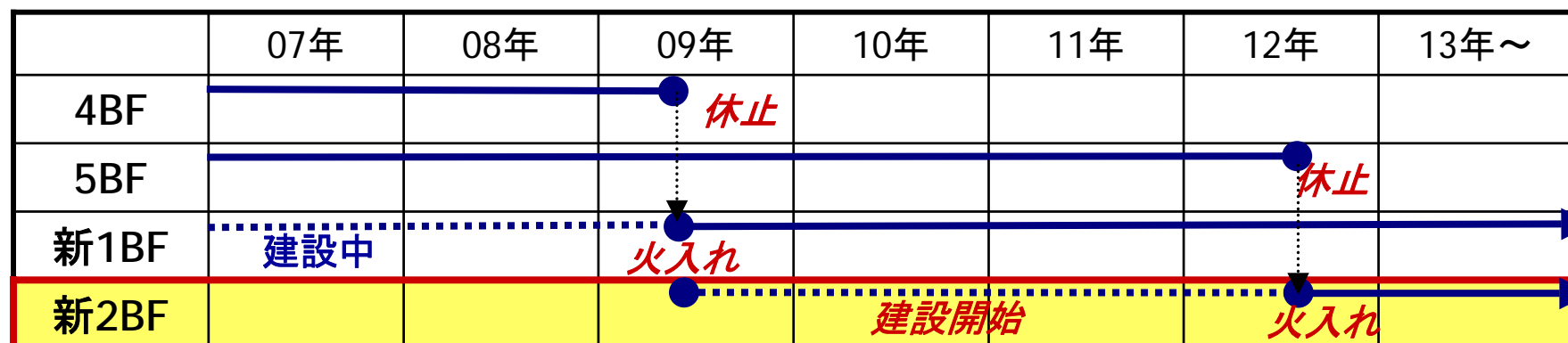


(和歌山の粗鋼生産には、上記の外数でステンレス粗鋼 約20万トﾝ有り)

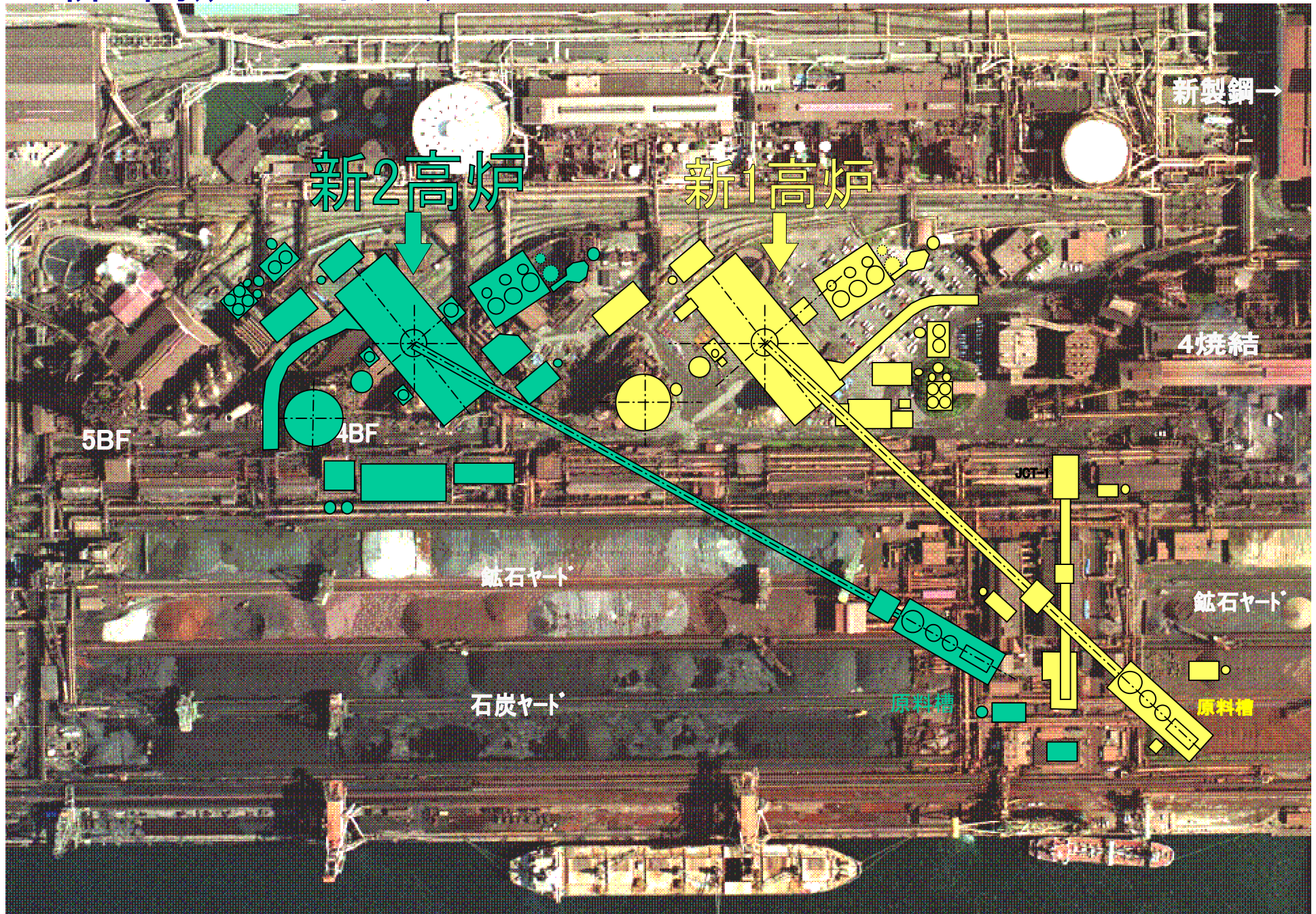
新2高炉の概要

現在建設中の和歌山新1高炉(2009年6月火入れ予定)と完全双子高炉

	4高炉	5高炉	新1高炉	新2高炉
稼働年月 (直近巻替年月)	1967年3月 (1982年2月)	1969年2月 (1988年2月)	2009年6月予定	2012年下期予定
内容積	2,700m ³	2,700m ³	3,700m ³	3,700m ³
生産能力	5,500t/日	5,500t/日	7,500t/日	7,500t/日
原料装入方式	ベル方式	ベル方式	ベルレス方式	ベルレス方式
微粉炭吹込能力	120kg/出銑t	140kg/出銑t	150kg/出銑t	150kg/出銑t
出銑口数	2本	2本	4本	4本



新2高炉 レイアウト



新2高炉の特徴

1. 和歌山新1高炉と完全双子高炉

建設時 ……設計費用の削減

操業開始後……新1高炉との

- ・操業データの共有化による長期安定操業の実現
- ・予備品・設備品の共有化によるコスト削減

2. 炉内容積の拡大による和歌山粗鋼生産能力の拡大

4高炉炉内容積 2,700m³ → 新2高炉 3,700m³

3. 25年以上の炉命を目標

新1高炉と同様に、稼働日数世界記録更新中の4高炉(2007年日経ものづくり大賞受賞)で培った炉体維持技術と最新の解析技術を駆使した設計により25年以上の炉命を目標

新日本製鐵(株)・(株)神戸製鋼所との
更なる連携深化・拡大の検討について

3社連携深化・拡大施策

■ 当社・新日鐵・神戸

- 3社での高級鋼対応としての和歌山鉄源設備共同活用の検討

高級スラブ販売増

当社

新日鐵

神戸製鋼

■ 当社・新日鐵

- 当社・新日鐵の高級鋼薄板供給能力確保の検討

高級薄板需要増への対応

当社

新日鐵グループ

- (株)住友金属直江津に関する共同対応策の検討

直江津の収益力強化

当社
住友金属直江津

新日鐵グループ

3社連携深化・拡大施策

■ 当社・神戸

- 当社グループ・神戸製鋼グループのハイテンションボルト事業提携の検討

グループ事業強化

当社グループ
(住金精圧品)

神戸製鋼グループ
(神鋼ボルト)

- 神鋼特殊鋼管へのステンレスボイラチューブ生産委託の検討

高級ボイラ鋼管拡販

当社

神鋼特殊鋼管

- 神戸製鋼へのチタン薄板熱間圧延の生産委託拡大の検討

チタン薄板の拡販

当社

神戸製鋼

- これら連携施策をより一層、円滑かつ着実に検討・実施していくことを目的とした相互の株式追加取得についても今後検討していく